

－ 第3次 －

村上岩船定住自立圏 共生ビジョン

(案)

令和7年 月
新潟県村上市

目 次

第1章 共生ビジョンの概要

1 定住自立圏の名称	1
2 定住自立圏の構成市村	1
3 共生ビジョン策定の目的・役割	1
4 共生ビジョンの期間	1

第2章 定住自立圏の将来像

1 市村の概況	2
村上市	2
関川村	3
粟島浦村	3
2 人口等の推移	4
(1) 人口の推移	4
(2) 年齢3区分別人口の推移	5
(3) 産業別就業者数の推移	7
3 圏域の将来像	9

第3章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 生活機能の強化	10
(1) 医療	10
(2) 福祉	15
(3) 教育	19
(4) 産業振興	24
(5) 環境衛生	30
(6) 消防・防災	33
(7) その他	35
2 結びつきやネットワークの強化	37
(1) 地域公共交通	37
(2) 地域連携	38
(3) システム共同利用の環境整備	39
3 圏域マネジメント能力の強化	40
(1) 育成・交流の推進	40

第1章 共生ビジョンの概要

1 定住自立圏の名称

村上岩船定住自立圏

2 定住自立圏の構成市村

村上市、関川村、粟島浦村

3 共生ビジョン策定の目的・役割

策定の目的

本ビジョンは、村上市と岩船郡関川村、粟島浦村が締結した定住自立圏形成協定に基づき、魅力ある定住自立圏を形成し、中心市と周辺村が互いに連携・協力し、役割分担を明確にしながら、圏域全体として目指すべき将来像を掲げるとともに、実現に向けて必要な具体的取組を示すものです。

村上市の役割

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を生かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らし続けられる魅力ある圏域の形成を図る。

連携する関川村・粟島浦村の役割

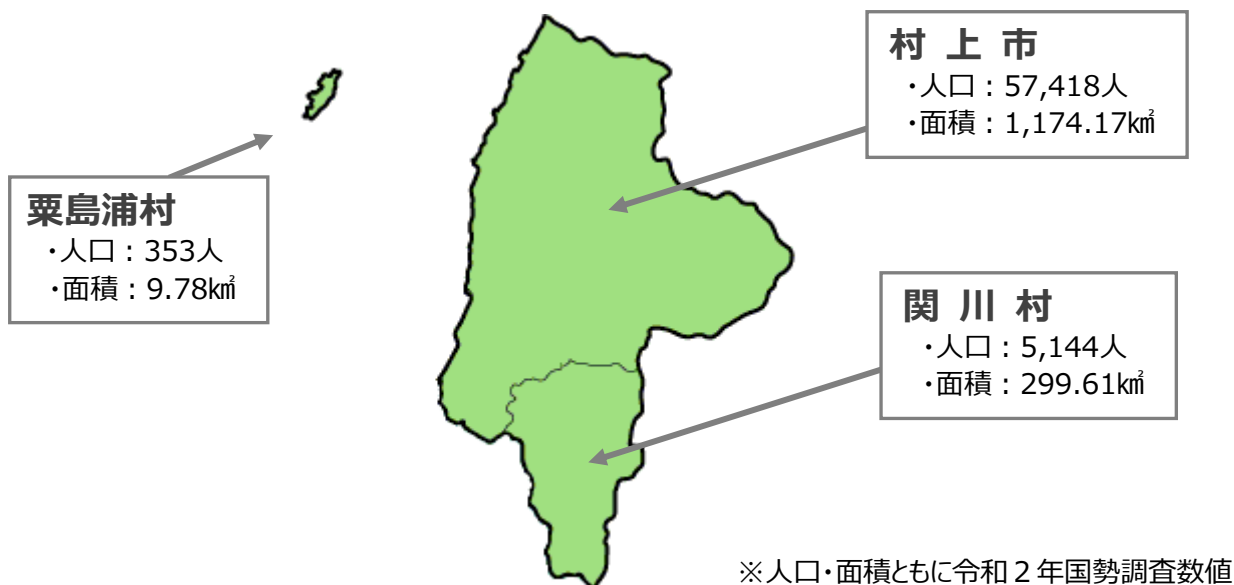
生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を生かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

4 共生ビジョンの期間

本ビジョンの計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行います。

第2章 定住自立圏の将来像

1 市村の概況



村上市

新潟県最北端に位置し、県の総面積のおよそ9.3%を占めています。50kmにも及ぶ海岸線を有し、白砂青松で有名な「笹川流れ」をはじめ、特定地域振興重要港湾岩船港が地域産業や観光振興など地域の重要拠点としてその役割を担っています。地質的には、沖積平坦地と山間部洪積地で構成され、平地は、飯豊朝日山系に源を発する荒川・三面川流域をはじめ、石川流域や大川流域に広がっており、特に荒川・三面川及び石川河川流域は、肥沃な水田として村上市の農業生産活動の基盤となっています。

主要道路としては、国道7号、国道113号、国道290号、国道345号が市内を縦横に走っており、これに主要県道や一般県道などが交差しています。また平成26年度より事業着手した日本海沿岸東北自動車道の朝日まほろばICからあつみ温泉IC間の早期開通を目指して官民一体となった取組が行われています。

【特産品】

- 岩船産コシヒカリ●天然塩●村上茶●鮭加工品
- 岩船麩●村上牛●村上本彫堆朱●メ張鶴
- 大洋盛●羽越しな布●越後本ズワイ
- 新潟のどぐろ「美宝」●岩牡蠣●白皇鯿

【観光名所等】

- 瀬波温泉●イヨバヤ会館●おしゃぎり会館
- 若林家住宅●村上城跡●村上歴史文化館
- 六斎市●まいづる公園●お幕場●笹川流れ
- 平林城跡●大須戸能●村上大祭●岩船大祭
- 瀬波大祭●村上市花火大会 in 清流あらかわ
- 町屋の屏風まつり●宵の竹灯籠まつり
- 町屋の人形さま巡り
- 日本遺産 北前船寄港地・船主集落



村上大祭 (7月7日)



関川村

県都新潟市の北東約60kmに位置し、村の中央を流れる荒川が日本海へと注いでいます。村の面積は東京23区の半分以上の広さですが、約88%は山林原野。緑美しい農山村です。

荒川沿線には高瀬・鷹の巣・雲母・湯沢・桂の関の5つの温泉が湧き出て、えちごせきかわ温泉郷を形成しています。村の中央には、国重文・渡邊邸や佐藤邸など18世紀の街並みが残っており、古くから交通の要所として栄えた米沢街道を今に伝えています。

昭和42年8月28日、羽越大水害に見舞われ、多くの犠牲者を出し、壊滅的な被害を受けましたが、その水害を風化させることなく、水害で得た教訓を後世に伝える契機にしようと考えられたのが「大したもん蛇まつり」です。村の全54集落の村民が竹とワラで作った大蛇の長さは82.8m、重さ2t。毎年8月下旬に村内外から集まった500人が担ぎ上げ、村内を練り歩きます。

自然豊かな環境を守り育てながら、歴史や伝統を次代に継承し香り高い文化を育み、うるおいに満ちた美しい村づくりを目指しています。

【特産品】

- 猫ちぐら ●岩船産コシヒカリ ●女川ハム ●しいたけ ●きんつば ●越後もち豚 ●朝日豚 ●じゃばみ豚

【観光名所等】

- 大したもん蛇まつり ●渡邊邸 ●東桂苑 ●えちごせきかわ温泉郷 ●荒川の鮎釣り ●道の駅「関川」 ●大型遊具 ●ふれあいど〜む ●大石ダム湖畔県民休養地 ●大石オートキャンプ村 ●鷹の巣キャンプ場 ●鷹の巣つり橋 ●丸山大橋 ●高瀬桜並木 ●旧米沢街道 ●杵差岳 ●光兎山



えちごせきかわ 大したもん蛇まつり
(8月下旬)



粟島浦村

村上市岩船港の北西約35kmの海上に位置し、「高速双胴船きさら」で55分、「フェリーニューあわしま」で85分の距離にある、日本海に浮かぶ孤立小型離島です。一島で一村を形成しており、面積9.78km²、周囲23.1kmで島の殆どが山地と丘陵で占められ、島の中央に265.6mの小柴山をはじめとする山の尾根が南北に連なっています。

先の“平成の大合併”においても、地域の伝統や文化、コミュニティ、自治を守るため単独村政を選択し、現在に至っています。

総ての村民が優れた、そして調和のとれた自然環境と生活環境のもとで、健康で明るく幸せな生活を営むことのできる村づくりを推進すると共に、小さな自治体が故に自治の機能が果たす役割をしっかりと認識し、生業が失われるとともに徐々に消えていった原風景を取り戻し、「ふるさと粟島」を次世代に承継します。

これからの島づくりのコンセプト

- ①つながりの島 ②命の教育 ③循環の島

【特産品】

- 真鯛 ●わっぱ煮 ●大豆 ●じゃがいも ●ぎんばそう ●養殖ワカメ

【観光名所等】

- 瀬波・笹川流れ・粟島県立自然公園 ●島びらき ●海岸クリーンアップ作戦 ●磯ダコ捕りツアー ●自然体験(シーカヤック等) ●八幡鼻展望台・仏崎展望台(新潟百景) ●海・磯釣り ●穴釣り体験



島びらき (5月)

2 人口等の推移

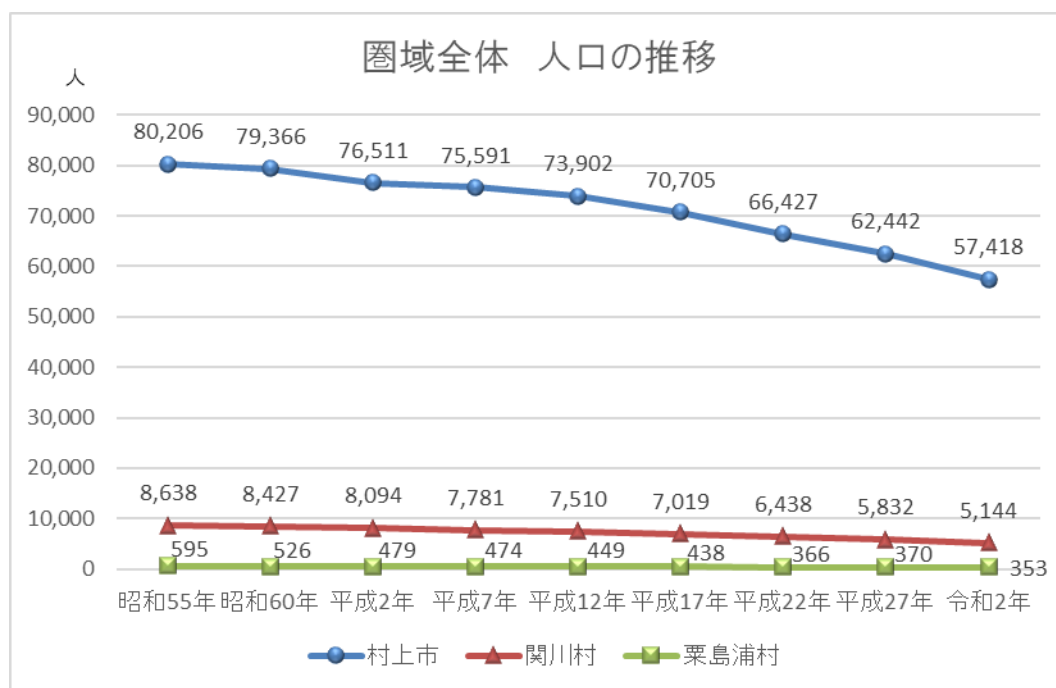
(1) 人口の推移

圏域の人口は、令和2年（2020年）には62,915人となり、平成22年（2010年）との比較で10,316人（▲約14.1%）、平成12年（2000年）との比較で18,946人（▲約23.1%）減少しています。

(単位：人)

市町村名	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
村上市	80,206	79,366	76,511	75,591	73,902	70,705	66,427	62,442	57,418
関川村	8,638	8,427	8,094	7,781	7,510	7,019	6,438	5,832	5,144
粟島浦村	595	526	479	474	449	438	366	370	353
計	89,439	88,319	85,084	83,846	81,861	78,162	73,231	68,644	62,915
減少率	—	△1.25	△3.66	△1.46	△2.37	△4.52	△6.31	△6.26	△8.35

※各市村、国勢調査結果



(2) 年齢3区分別人口の推移(推計)

← ビジョン計画期間 →

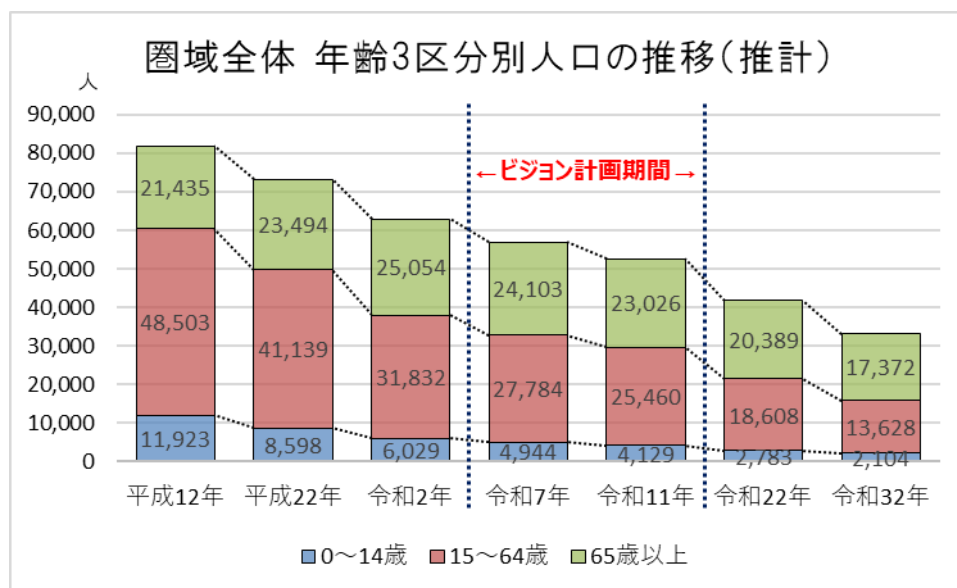
(単位:人)

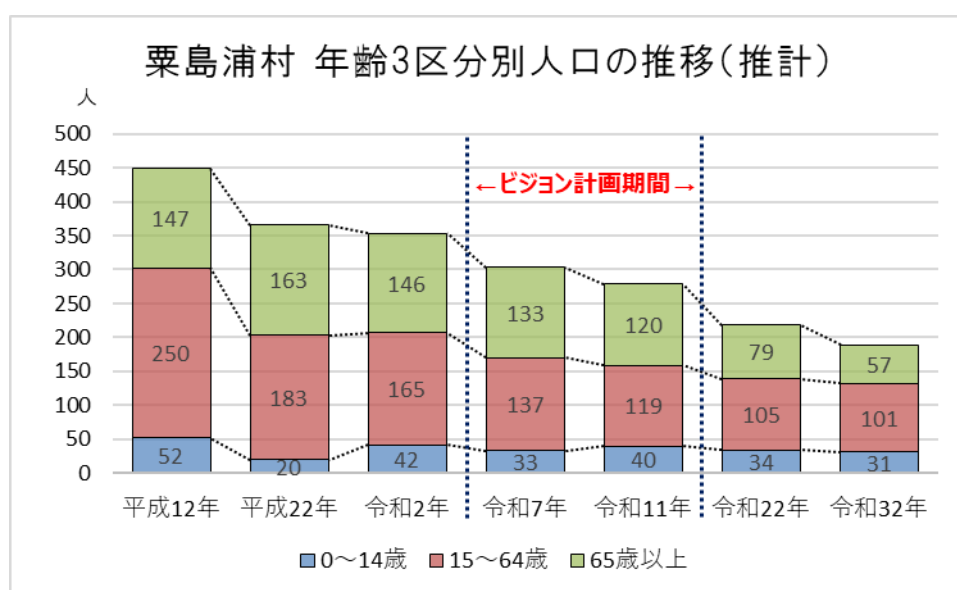
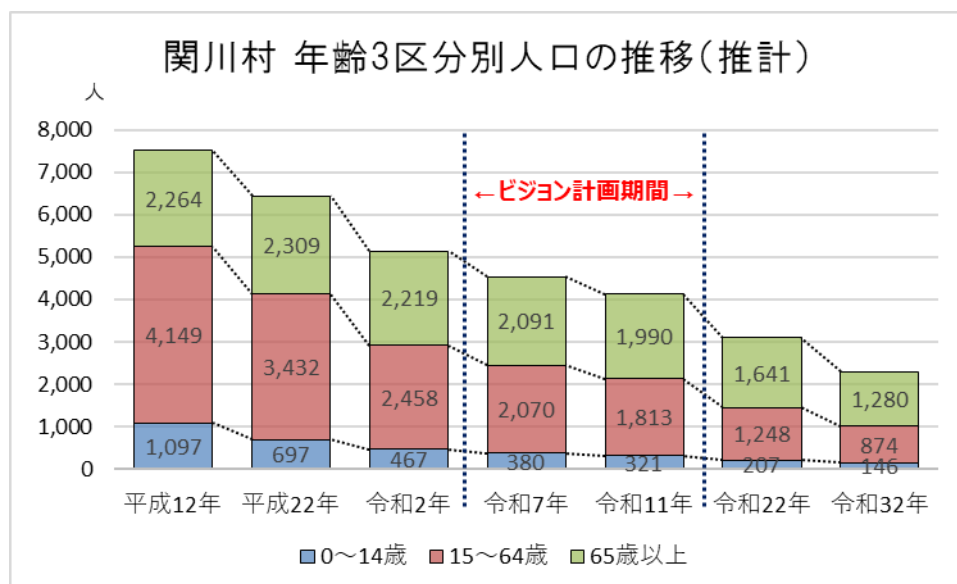
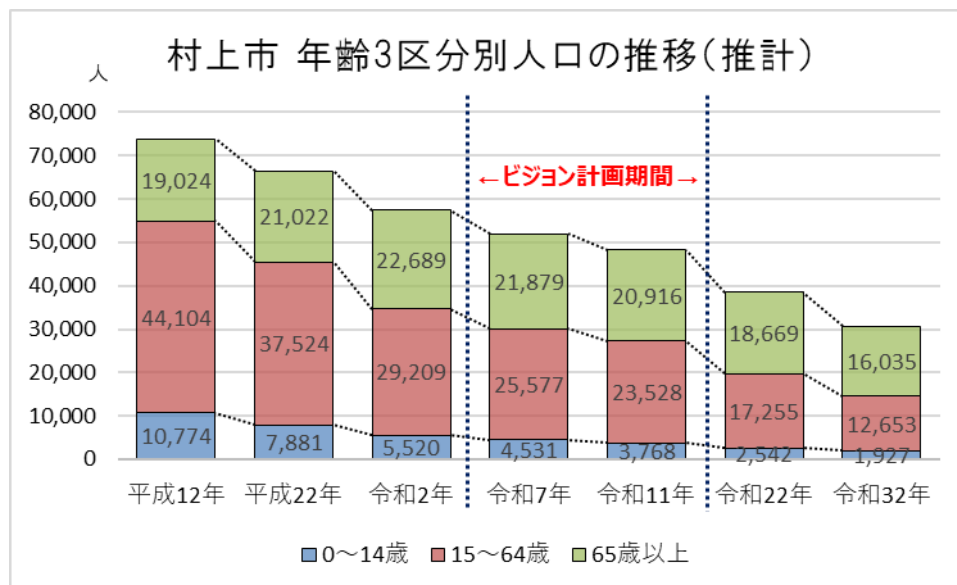
市村名	区 分	平成12年 (2000年)	平成22年 (2010年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和11年 (2029年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)
村上市	0～14歳	10,774	7,881	5,520	4,531	3,768	2,542	1,927
	15～64歳	44,104	37,524	29,209	25,577	23,528	17,255	12,653
	65歳以上	19,024	21,022	22,689	21,879	20,916	18,669	16,035
	計	73,902	66,427	57,418	51,987	48,212	38,466	30,615
関川村	0～14歳	1,097	697	467	380	321	207	146
	15～64歳	4,149	3,432	2,458	2,070	1,813	1,248	874
	65歳以上	2,264	2,309	2,219	2,091	1,990	1,641	1,280
	計	7,510	6,438	5,144	4,541	4,124	3,096	2,300
粟島浦村	0～14歳	52	20	42	33	40	34	31
	15～64歳	250	183	165	137	119	105	101
	65歳以上	147	163	146	133	120	79	57
	計	449	366	353	303	279	218	189
圏域全体	0～14歳	11,923	8,598	6,029	4,944	4,129	2,783	2,104
	15～64歳	48,503	41,139	31,832	27,784	25,460	18,608	13,628
	65歳以上	21,435	23,494	25,054	24,103	23,026	20,389	17,372
	計	81,861	73,231	62,915	56,831	52,615	41,780	33,104

※令和2年までは国勢調査結果

※令和7、22、32年は国立社会保障・人口問題研究所の推計値(令和5年4月)

※令和11年は国立社会保障・人口問題研究所の推計値(令和5年4月)をもとに試算したもの





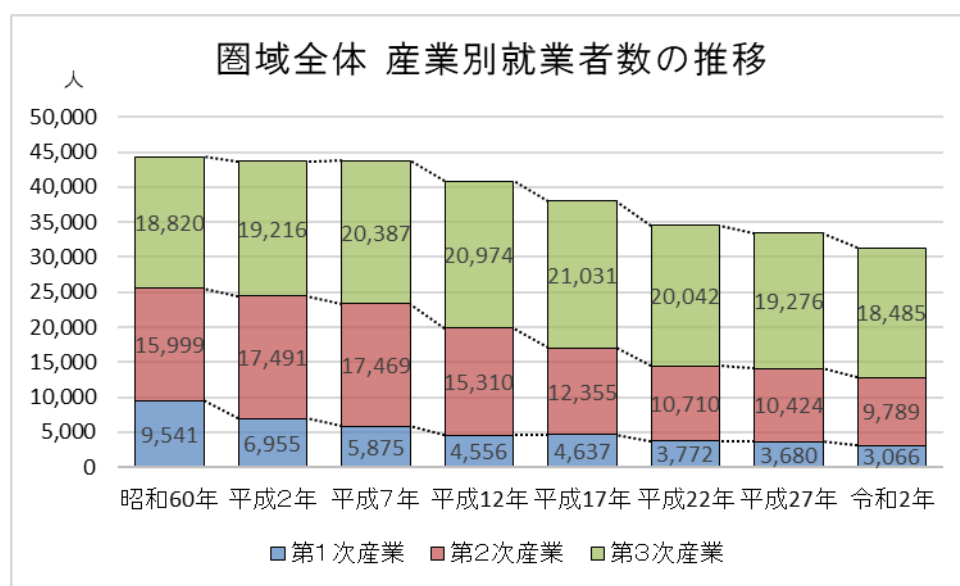
(3) 産業別就業者数の推移

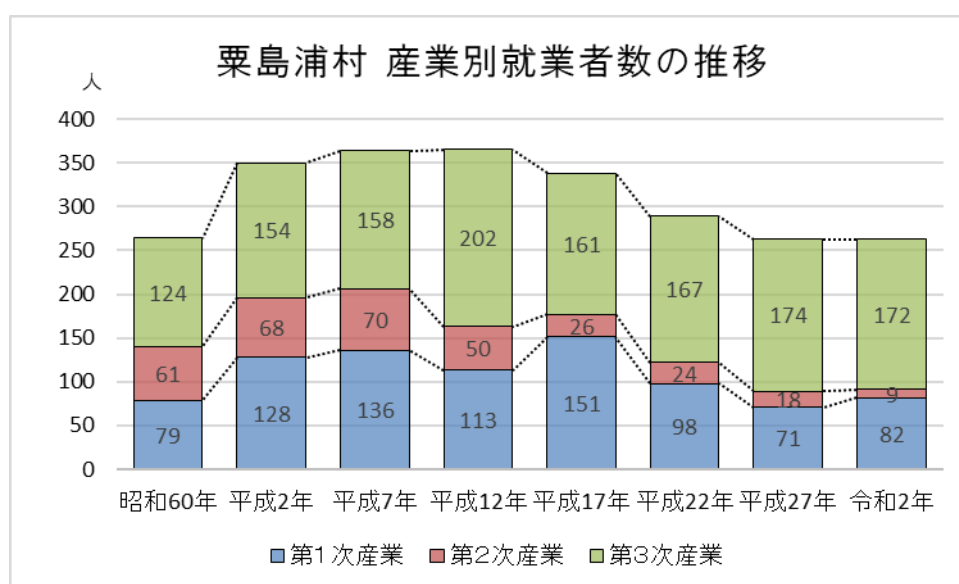
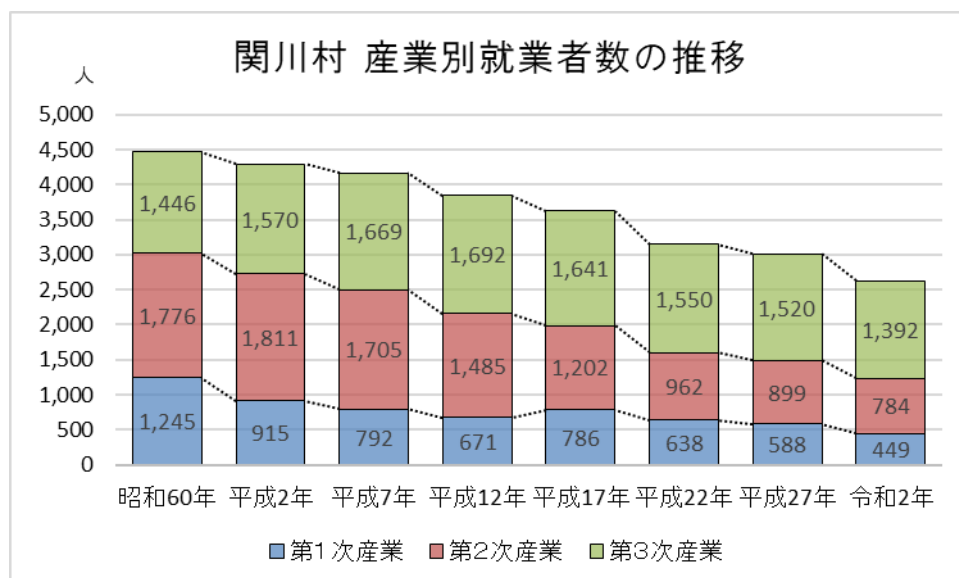
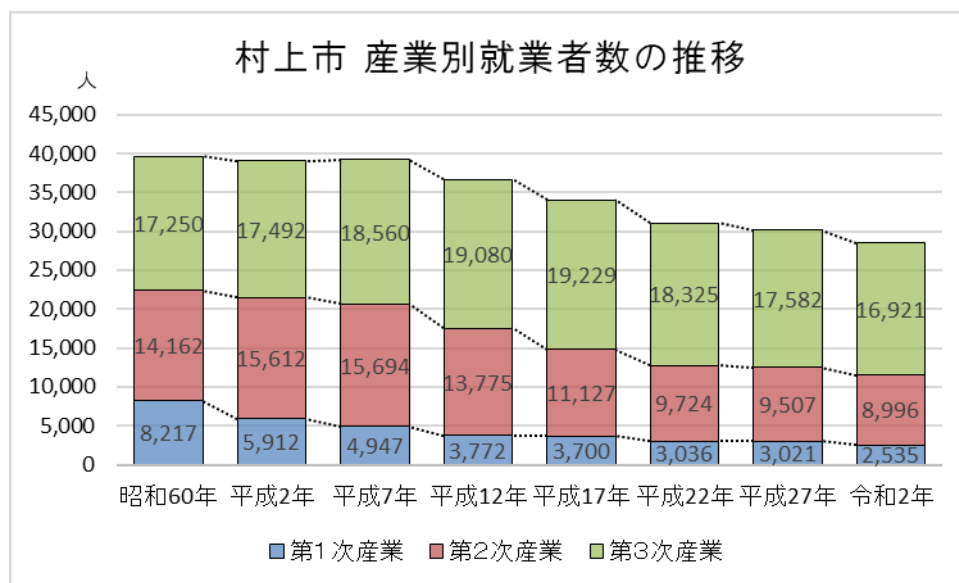
(単位：人)

市村名	産業区分	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
村上市	第1次	8,217	5,912	4,947	3,772	3,700	3,036	3,021	2,535
	第2次	14,162	15,612	15,694	13,775	11,127	9,724	9,507	8,996
	第3次	17,250	17,492	18,560	19,080	19,229	18,325	17,582	16,921
	計	39,629	39,016	39,201	36,627	34,056	31,085	30,110	28,452
関川村	第1次	1,245	915	792	671	786	638	588	449
	第2次	1,776	1,811	1,705	1,485	1,202	962	899	784
	第3次	1,446	1,570	1,669	1,692	1,641	1,550	1,520	1,392
	計	4,467	4,296	4,166	3,848	3,629	3,150	3,007	2,625
粟島浦村	第1次	79	128	136	113	151	98	71	82
	第2次	61	68	70	50	26	24	18	9
	第3次	124	154	158	202	161	167	174	172
	計	264	350	364	365	338	289	263	263
圏域合計	第1次	9,541	6,955	5,875	4,556	4,637	3,772	3,680	3,066
	第2次	15,999	17,491	17,469	15,310	12,355	10,710	10,424	9,789
	第3次	18,820	19,216	20,387	20,974	21,031	20,042	19,276	18,485
	計	44,360	43,662	43,731	40,840	38,023	34,524	33,380	31,340

※各市村、国勢調査結果

※分類不能の産業の就業人口は除く





3 圏域の将来像

我が国は、大都市圏への人口集中と少子高齢化により、本格的な人口減少社会へと進んでいます。また、グローバル化の進展や地域経済の低迷、地方分権の推進など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、地域が知恵を出し合い、創意工夫をしながら様々な地域課題に対応し、持続可能な圏域を形成することが求められています。

村上岩船圏域においては、単独の自治体では行政運営に限界があることから、昭和48年に岩船地域広域事務組合を設立し、総合的・広域的な地域づくりを目指し各種施策を推進し、平成20年の市町村合併による組合解散後は、村上市が事業を引き継いでまいりました。

しかしながら当圏域においても人口流出等による地域活力の低下が、圏域を構成する全ての市村にとって大きな課題となっており、これまで培ってきた広域連携の基盤を活かしながら、今まで以上に圏域の課題解決に取り組んでいく必要があります。平成27年に本市が中心市となり、関川村、栗島浦村とともに「村上岩船定住自立圏」を形成し、役割分担を明確化し互いに連携・協力してきたところであります。

今後さらに定住に必要な医療や福祉などの生活機能の充実、雇用の創出や観光交流など圏域内外の交流促進による地域経済の活性化を図り、圏域からの人口流出を抑制し圏域の一体的な発展に努め、圏域住民がここで暮らし続け、郷土に愛着と誇りを持てる圏域づくりを目指します。

この将来像を踏まえ、各市村で定められている人口ビジョンをもとに、次のように中長期的な数値目標として人口及び高齢化率の目標値を定めます。

		← 国勢調査結果 →			← 推計値 →		
		平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和11年 (2029年)	令和17年 (2035年)	令和27年 (2045年)
村上市	国勢調査(令和2年) 社人研推計(令和5年)	66,427人 (31.55%)	62,442人 (35.64%)	57,418人 (39.52%)	48,212人 (43.38%)	42,763人 (45.87%)	34,422人 (50.96%)
	<目標値> 人口ビジョン推計	合計特殊出生率が2040年までに2.0、2065年までに2.2へ上昇し、5年間ごとに人口移動が50%ずつ縮小する。			52,444人 (40.14%)	48,303人 (40.82%)	41,800人 (41.46%)
関川村	国勢調査(令和2年) 社人研推計(令和5年)	6,438人 (35.87%)	5,832人 (39.13%)	5,144人 (43.14%)	4,124人 (48.25%)	3,543人 (50.75%)	2,684人 (54.47%)
	<目標値> 人口ビジョン推計	合計特殊出生率を2030年に2.00、2040年に2.20を目指す。2030年をめどに社会動態の均衡を目指す。			4,520人 (45.13%)	4,110人 (46.23%)	3,590人 (46.05%)
栗島浦村	国勢調査(令和2年) 社人研推計(令和5年)	366人 (44.54%)	370人 (40.54%)	353人 (41.36%)	279人 (43.01%)	245人 (40.82%)	202人 (33.17%)
	<目標値> 人口ビジョン推計	合計特殊出生率を2030年1.8、2040年2.07とする。UIターン者を受け入れ、若い年代を増加させる。			317人 (41.01%)	314人 (35.35%)	286人 (28.32%)
圏域全体	国勢調査(令和2年) 社人研推計(令和5年)	73,231人 (32.00%)	68,644人 (35.96%)	62,915人 (39.82%)	52,615人 (43.76%)	46,551人 (46.22%)	37,308人 (51.11%)
	<目標値> 人口ビジョン推計				57,281人 (40.54%)	52,727人 (41.21%)	45,676人 (41.73%)

※カッコ内は高齢化率

第3章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 生活機能の強化 (大項目 1)

(1) 医療 (中項目 1)

基本目標	指 標
	安心して暮らせる地域を目指し、医療体制の強化を図る。

①地域医療体制の充実 (小項目 1)

●形成協定の内容

取組内容	病院群輪番制病院の2次医療に必要な体制及び設備の充実を図る。また、村上市・岩船郡内の医療懇談会等の開催や新潟県医師養成修学資金貸与事業への拠出を通じ地域医療体制の充実について共同して取組を行う。
甲の役割	病院群輪番制病院に対し乙とともに2次医療体制及び設備の充実に向けた支援を図るとともに、地域の医療体制について医療懇談会における検討や若手医師の確保のための取組により推進を図る。
乙の役割	病院群輪番制病院に対し甲とともに2次医療体制及び設備の充実に向けた支援を図るとともに、地域の医療体制について医療懇談会における検討や若手医師の確保のための取組により推進を図る。

具体的な連携事業 (1)

事業名	病院群輪番制病院運営支援事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	病院群輪番制を実施している厚生連村上総合病院に対して、運営費補助及び設備購入に対する補助を行う。				
期待される効果	2次医療体制の強化が図られ、地域住民が安心して健康に暮らせる地域社会に貢献できる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	病院群輪番制病院に対し運営費補助及び設備購入に対する補助を行い、地域医療体制の充実を図る。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	19,398		《継続》		
関川村	2,113		《継続》		
粟島浦村	411		《継続》		
合 計	21,922				
補助制度	医療施設等設備整備費補助金・医療施設等設備整備負担金 病院群輪番制病院運営事業補助金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

病院群輪番制・・・地域内の病院群が共同連帯して、輪番制方式により休日・夜間等における重症救急患者の診療を受け入れる体制。

具体的な連携事業 (2)

事業名	村上・岩船地域医療懇談会事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	懇談会において地域医療の在り方、地域医療の諸問題等について協議し、地域医療体制の整備を図るとともに、「村上・岩船地域の医療を考えるフォーラム」を開催し、地域住民と共に地域医療についての認識を深める。 また、中学生及び高校生を対象に医師又は医療現場体験見学会を実施し、将来地域医療を担う人材の掘り起こしを図る。				
期待される効果	地域住民が、安心して暮らせる医療体制の整備が期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	医療フォーラム参加者数 (人)【単年】	270	350		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	504	→	→	→	→
関 川 村	61	→	→	→	→
粟島浦村	5	→	→	→	→
合 計	570				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

地域医療懇談会・・・医療を通じて社会の民主化、住民自治を推進し、医師と地域住民が手を取り合ってより良い地域社会を築いていくことを目指す活動。

具体的な連携事業 (3)

事業名	新潟県医師養成修学資金貸与事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	医師確保を促進するために新潟県と村上市が連携して実施する新潟県医師養成修学資金貸与事業において村上市が負担する費用について、村上市、関川村及び粟島浦村が連携して拠出する。				
期待される効果	貸与を受けた医学生は、卒業後の一定期間、医師として村上総合病院で勤務することとなり、村上・岩船地域における若手医師の確保が図られる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	村上市、関川村及び粟島浦村が連携して負担金を拠出し、村上・岩船地域における若手医師の確保を図る。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	4,930	→	《継続》	→	→
関川村	430	→	《継続》	→	→
粟島浦村	40	→	《継続》	→	→
合 計	5,400				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

②急患診療体制の充実 (小項目 2)

●形成協定の内容

取組内容	村上市急患診療所の運営を維持し、必要に応じて施設整備等の取組を行う。
甲の役割	村上市急患診療所の施設整備、維持管理及び運営経費算定について、乙及び村上市岩船郡医師会との調整を図りながら運営する。
乙の役割	甲に対し必要な経費を負担する。

具体的な連携事業 (4)

事業名	村上市急患診療所運営事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	休日及び平日夜間における医療体制を確保するため、村上市岩船郡医師会と連携して急患診療所を運営するとともに、適正利用について周知を行う。				
期待される効果	休日及び平日夜間における急患診療体制を維持することで、地域住民の安心感の向上が図られる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	村上市岩船郡医師会と連携して急患診療所の運営を維持するとともに、必要に応じて村上市民及び関川村民に適正な利用について周知する。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	33,188	「継続」		「継続」	
関 川 村	451	「継続」		「継続」	
合 計	33,639				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

③自殺対策の推進 (小項目 3)

●形成協定の内容

取組内容	村上市・岩船郡内の自殺対策に関して共同して取組を行う。
甲の役割	村上市・岩船郡内の自殺対策について県と乙と連携を図り、共同して取組を行う。
乙の役割	村上市・岩船郡内の自殺対策について県と甲と連携を図り、共同して取組を行う。

具体的な連携事業 (5)

事業名	自殺対策推進事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	自殺対策についての情報共有を図り、関係機関と連携して事業を行い、圏域全体で自殺を予防する体制づくりを行う。				
期待される効果	地域住民の意識啓発と自殺者の抑制が図られると期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	自殺対策に関する普及啓発の推進と相談窓口の充実を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	582	———	《継続》	———	———
関 川 村	431	———	《継続》	———	———
粟島浦村	0	———	《継続》	———	———
合 計	1,013				
補助制度	新潟県地域自殺対策強化事業市町村事業補助金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 福祉 (中項目 2)

基本目標	指 標
	サービスの充実により安心して子育てができる環境の向上を図る。

①子育て支援センターの広域利用 (小項目 4)

●形成協定の内容

取組内容	子育て支援センターに関する事業の広域利用を推進し、利用できる支援サービスの充実を図る。
甲の役割	広域的な利用が円滑に行われるよう、情報提供及び広報等に努める。
乙の役割	甲とともに広域的な利用が円滑に行われるよう、情報提供及び広報等に努める。

具体的な連携事業 (6)

事業名	子育て支援センター事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	村上市子育て支援センター利用対象範囲を岩船郡まで拡大、各村の住民が利用できるようにするとともに、地域住民への情報提供を行う。				
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	子育て支援センター土曜広場利用者数(人) 【単年】	1,835	2,000		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	25,733	—	—	「継続」	—
関 川 村	1,867	—	—	「継続」	—
栗島浦村	0	—	—	「継続」	—
合 計	27,600				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

②各種審査会業務の連携 (小項目 5)

●形成協定の内容

取組内容	介護保険法に基づく認定審査会及び障害者総合支援法に基づく障害程度区分に係る介護給付等の支給に関する審査会の公平性並びに効率性を確保するため、各種認定審査業務を推進する。
甲の役割	介護認定審査会及び障害程度区分介護給付等審査会の業務を乙と連携して運営する。
乙の役割	甲に対し必要な経費を負担する。

具体的な連携事業 (7)

事業名	介護認定審査会事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	介護保険法に基づく要介護認定、要支援認定を公正かつ効率的に行うため、介護認定審査会を共同で運営する。				
期待される効果	介護認定審査会委員をより多くの人材から選定することが可能となり、要介護認定や要支援認定が客観的に実施できる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	公平かつ効率的に審査を実施する。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	33,398	―――	―――	「継続」	―――
関川村	4,256	―――	―――	「継続」	―――
栗島浦村	248	―――	―――	「継続」	―――
合 計	37,902				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

具体的な連携事業 (8)

事業名	障害者介護給付費等支給審査会事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	障害者総合支援法に基づく審査会の公平性及び効率性を確保するため、審査業務を共同で実施する。				
期待される効果	圏域における審査内容の公平性確保や審査会の効率的運営が図られる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	公平かつ効率的に審査を実施する。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	870	→	《継続》	→	→
関川村	120	→	《継続》	→	→
粟島浦村	12	→	《継続》	→	→
合 計	1,002				
補助制度	地域生活支援事業費補助金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

障害者介護給付費等支給審査会・・・障害福祉サービスを利用するために必要な支援区分を決定する場。

③病児保育施設の利用 (小項目 6)

●形成協定の内容

取組内容	病児保育施設の共同利用を行い、子育て環境の充実を図る。
甲の役割	共同利用が円滑に行われるよう、施設の運営及び情報提供に努める。
乙の役割	甲とともに共同利用が円滑に行われるよう、情報提供及び広報等に努める。

具体的な連携事業 (9)

事業名	病児保育事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	病児保育施設「あらかわ病児保育センター」について、市村の住民が利用できるようにするとともに、地域住民への情報提供を行う。				
期待される効果	圏域全体として、保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の向上が期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	利用者満足度【単年】	100%	100%	利用者満足度調査で満足、やや満足と回答	
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	15,945	→	→	→	→
関 川 村	1,400	→	→	→	→
合 計	17,345				
補助制度	子ども・子育て支援交付金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 教育 (中項目 3)

基本目標	指 標
	施設利用の利便性向上と学習環境の充実を図る。

①学校教育関係施設利用の充実 (小項目 7)

●形成協定の内容

取組内容	理科教育センター及びことばとこころの相談室などの事業を推進する。
甲の役割	乙と連携して施設利用の充実を図る。
乙の役割	甲に対し必要な経費を負担する。

具体的な連携事業 (10)

事業名	理科教育センター事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	生活科及び理科担当教員の研修会や親子自然観察会等を開催し、理科教育の振興を図る。				
期待される効果	生活科及び理科担当教員の指導力が向上し、理科授業が充実する。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	生活科及び理科担当教員の研修会等を開催し、理科教育の振興を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	5,049	―――	《継続》	―――	―――
関 川 村	605	―――	《継続》	―――	―――
栗島浦村	52	―――	《継続》	―――	―――
合 計	5,706				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

具体的な連携事業 (11)

事業名	ことばとこころの相談室事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	特別な配慮が必要な幼児・児童生徒を対象として、本人・保護者または保育士、幼稚園・学校教諭などに専門的な支援・指導、助言を行う。				
期待される効果	個別指導と巡回相談等により、早期に保護者・関係機関とも連携した形で支援・指導、助言を行い、適切に障害や問題の改善を図ることができる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	特別支援教育の推進を図り、幼児・児童生徒等の気になる行動や発音の軽減・改善を行う。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	36,600	→	《継続》	→	→
関川村	3,822	→	《継続》	→	→
栗島浦村	323	→	《継続》	→	→
合 計	40,745				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

ことばとこころの相談室・・・心身障害および問題傾向をもつ幼児・児童生徒を対象として、本人・保護者または保育士、幼稚園・学校教諭などに専門的な指導、助言を行い、心身の成長を支援する活動。

②生涯学習関係施設の相互利用の充実 (小項目 8)

●形成協定の内容

取組内容	図書館、視聴覚ライブラリー事業を推進する。
甲の役割	乙と連携して多様な学習機会の情報を相互に交換し、甲の住民に対し周知を行う。
乙の役割	甲に対し必要な経費を負担する。

具体的な連携事業 (12)

事業名	図書館事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	地域住民に対して図書サービスを提供する。				
期待される効果	図書館の利用を通じて学習し情報収集することにより文化的な生活を営むことができる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	図書館の利用促進と学習環境の向上を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	84,541	———	———	《継続》	———
関 川 村	5,950	———	———	《継続》	———
粟島浦村	306	———	———	《継続》	———
合 計	90,797				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

具体的な連携事業 (13)

事業名	視聴覚ライブラリー事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	視聴覚教育の振興、視聴覚教材及び機材の貸し出し・管理及び情報提供をする。				
期待される効果	視聴覚に訴える具体的・直感的認識を通じて学習効果が高まる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	教材・機材の貸し出しにより視聴覚教育の振興を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	3,219	—————	«継続»	—————	—————
関 川 村	227	—————	«継続»	—————	—————
栗島浦村	12	—————	«継続»	—————	—————
合 計	3,458				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

③体育施設の相互利用の充実 (小項目 9)

●形成協定の内容

取組内容	スポーツ少年団の体育施設相互利用について充実を図る。
甲の役割	スポーツ少年団の体育施設利用充実に向け、施設相互利用について乙と協議する。
乙の役割	スポーツ少年団の体育施設利用充実に向け、施設相互利用について甲と協議する。

具体的な連携事業 (14)

事業名	スポーツ少年団体育施設相互利用事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	地域内の体育施設についてスポーツ少年団の相互利用を実施する。				
期待される効果	スポーツ少年団の交流が活性化するとともに、施設利用の利便性が高まる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	スポーツ少年団の交流と施設利用の利便性の向上を図る。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	3,900	———	《継続》	———	———
関川村	0	———	《継続》	———	———
合 計	3,900	———	《継続》	———	———
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

(4) 産業振興 (中項目 4)

基本目標	指 標
	地域資源や特産品などを活用し地域の活性化を図る。

① 農業振興の推進 (小項目 10)

● 形成協定の内容

取組内容	岩船米の販売促進と消費拡大を図る。
甲の役割	国、県、農協、生産者等の協力により、首都圏など圏域外のイベント等で販売・P Rなどを行うことにより、国内の販売促進と消費拡大を図るとともに、併せて国の「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」及び県の「新潟米基本戦略」の方針を基に、海外輸出の拡大を図る。
乙の役割	国、県、農協、生産者等の協力により、首都圏など圏域外のイベント等で販売・P Rなどを行うことにより、国内の販売促進と消費拡大を図るとともに、併せて国の「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」及び県の「新潟米基本戦略」の方針を基に、海外輸出の拡大を図る。

具体的な連携事業 (15)

事業名	岩船米販売促進事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	国、県、農協、生産者等と協力して、高品質良食味の維持向上及び消費動向を把握し、国内外の販売促進並び消費拡大に向けた事業に参加・企画する。				
期待される効果	岩船米の販路拡大と更なる消費拡大を図ることが期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	岩船米の輸出量 (トン) 【単年】	922	1,000		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	1,677	———	《継続》	———	———
関 川 村	1,763	———	《継続》	———	———
合 計	3,440				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

②林業振興の推進 (小項目 11)

●形成協定の内容

取組内容	圏域における間伐材等林産材の有効活用の推進を図る。
甲の役割	圏域における間伐材等林産材の有効活用のため、森林基幹道岩船東部線の整備を推進し、林産物搬出経費の軽減を図る。
乙の役割	圏域における間伐材等林産材の有効活用のため、森林基幹道岩船東部線の整備を推進し、林産物搬出経費の軽減を図る。

具体的な連携事業 (16)

事業名	林産物等の物流低コスト化事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	林産物搬出経費の軽減を図るため、森林基幹道岩船東部線の整備を推進するとともに、間伐材や特用林産物等の利用促進を図る。				
期待される効果	林産物搬出経費の軽減を図り、間伐材等を有効活用することで健全な森林が有する多面的機能の確保を図られるとともに特用林産物生産振興により地域林業の活性化が期待できる。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	森林基幹道岩船東部線整備 延長(Km) 【累計】	9.84	21.89		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	70	———	———	《継続》	———→
関 川 村	33	———	———	《継続》	———→
合 計	103				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

③観光振興の推進 (小項目 12)

●形成協定の内容

取組内容	圏域内に存在する観光資源を生かした広域的な観光ルートの開発など、圏域の魅力を連携して発信する。
甲の役割	圏域内の観光資源の魅力を生かした広域的な観光ルート開発などを乙と連携して協議検討する。
乙の役割	圏域内の観光資源の魅力を生かした広域的な観光ルート開発などを甲と連携して協議検討する。

具体的な連携事業 (17)

事業名	広域観光ルート開発事業					
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村					
事業内容	圏域内の観光資源を生かした広域的な観光ルート等の検討を行うとともに、関係団体等と連携して商談会等で売り込む。					
期待される効果	広域的な観光ルートの開発により観光客の周遊性を高めことで波及効果が期待できる。					
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値		令和 11 年度 目標値		備 考
	観光入込客数 (千人) 【単年】	2,321		2,614		年 2%増加を見込む
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度	
村 上 市	0	———	———	《継続》	———	→
関 川 村	0	———	———	《継続》	———	→
粟島浦村	0	———	———	《継続》	———	→
合 計	0					
補助制度						

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

④物産振興の推進 (小項目 13)

●形成協定の内容

取組内容	特産品（農産物、水産物、畜産物等）に関して、連携して販売戦略を展開するとともに、消費拡大に資する事業の推進を図る。
甲の役割	物産展等に関する情報を乙に提供するとともに、P Rや販路拡大に資する事業を連携して取り組む。
乙の役割	物産展等に関する情報を甲に提供するとともに、P Rや販路拡大に資する事業を連携して取り組む。

具体的な連携事業 (18)

事業名	特産品販路拡大事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	圏域内の特産品の振興団体である越後村上物産会を支援し市外などでの物産展開催により圏域の物産振興を図る。				
期待される効果	特産品などの売上げ増加が見込まれるとともに、圏域外への知名度アップと集客が期待できる。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	物産会主催物産展開催数 (回) 【単年】	5	5		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	0	———	«継続»	———	———
関 川 村	0	———	«継続»	———	———
粟島浦村	0	———	«継続»	———	———
合 計	0				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤グリーン・ツーリズムの推進 (小項目 14)

●形成協定の内容

取組内容	農山漁村における体験プログラムの充実を図り、体験型旅行や教育旅行の受け入れを推進するため、連携協力する。
甲の役割	村上地域グリーン・ツーリズム協議会が実施する事業について、乙とともに連携を図り、必要な経費を負担する。
乙の役割	村上地域グリーン・ツーリズム協議会が実施する事業について、甲とともに連携を図り、必要な経費を負担する。

具体的な連携事業 (19)

事業名	グリーン・ツーリズム促進事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	村上地域をPRするため、HPやパンフレットの充実、教育旅行などの受け入れ態勢の拡充を推進し促進を図る。				
期待される効果	農家等の所得向上や交流人口増加が見込まれ、地域の活性化が期待できる。				
成果指標 (KPI)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	インストラクター数 (人) 【 <u>単年</u> 】	14	30		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	800	———	———	《継続》	———→
関 川 村	100	———	———	《継続》	———→
栗 島 浦 村	30	———	———	《継続》	———→
合 計	930				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

⑥ 林業担い手育成の推進 (小項目 15)

● 形成協定の内容

取組内容	林業担い手の育成支援を推進し、人材及び労働力不足の解消を図る。
甲の役割	関係機関、外郭団体と協力し若年就労希望者に対する支援・P R 活動について対策を講じる。
乙の役割	関係機関、外郭団体と協力し若年就労希望者に対する支援・P R 活動について対策を講じる。

具体的な連携事業 (20)

事業名	林業担い手育成支援事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	林業の新規就業者に対する支援・P R 活動を行い、地域雇用の促進と労働力確保により森林整備の促進を図る。				
期待される効果	林業への関心が高まり、森林整備に対する意識の高揚が図られる。また、管内での雇用機会が増えることにより、就労人口・定住人口の増加が期待できる。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	新規就業者数 (人) 【単年】	6	10		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
	村 上 市	2,517	———	«継続»	———→
	関 川 村	200	———	«継続»	———→
	合 計	2,717			
補助制度	林業チャレンジ体験支援事業				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

（５）環境衛生（中項目 5）

基本目標	指 標
	安全で衛生的な生活環境の維持を図るとともに、地域資源を生かした地球温暖化防止対策を推進する。

①ごみ処理業務の連携（小項目 16）

●形成協定の内容

取組内容	効率的なごみ処理を推進するため、共同してごみ処理を行う。
甲の役割	環境負荷の低減や施設周辺の生活環境の保全に配慮し、安全で安心な経済性に優れた施設運営を推進する。
乙の役割	甲に対し必要な経費を負担する。

具体的な連携事業（21）

事業名	ごみ処理施設運営事業					
連携市村	村上市、関川村					
事業内容	ごみ処理施設の機能が十分に発揮できるよう効率的な稼働を行う。					
期待される効果	安全で衛生的な施設として継続的な運営を図ることができる。					
成果指標 （ K P I ）	指 標					
	効率的な稼働により継続的な運営を図る。					
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度	
	村 上 市	1,050,328		«継続»		
	関 川 村	133,316		«継続»		
	合 計	1,183,644				
補助制度						

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

②斎場業務の連携 (小項目 17)

●形成協定の内容

取組内容	公衆衛生の向上を図るため、共同して斎場の運営を行う。
甲の役割	斎場の管理を適正に行い、公衆衛生の向上を図る。
乙の役割	甲に対し必要な経費を負担する。

具体的な連携事業 (22)

事業名	斎場運営事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	公衆衛生の向上を図るため、共同で斎場を運営する。 村上市内3火葬場を統合し、新たな火葬場を整備する。				
期待される効果	継続的に圏域の衛生的な生活環境を維持することができる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	適正管理により公衆衛生の向上を図る。				
事業費見込(千円)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
村上市	23,388	――	――	「継続」	――
関川村	7,450	――	――	「継続」	――
合 計	30,838				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

③脱炭素社会の推進 (小項目 18)

●形成協定の内容

取組内容	地球温暖化や気候変動に対する環境対策として、圏域で再生可能エネルギー等の利用促進に取り組む。
甲の役割	乙と連携して地球温暖化や気候変動に対する環境対策として、再生可能エネルギー等の利用促進に取り組む。
乙の役割	甲と連携して地球温暖化や気候変動に対する環境対策として、再生可能エネルギー等の利用促進に取り組む。

具体的な連携事業 (23)

事業名	再生可能エネルギー推進事業				
連携市村	村上市、関川村				
事業内容	地域脱炭素化実現に向けて、地域住民の環境意識の醸成を図るとともに、再生可能エネルギーの最大限活用を推進する。				
期待される効果	地球温暖化防止や気候変動の緩和に寄与することができる。 再生可能エネルギーの導入に伴い、地域レジリエンスの向上や地元産業の振興、雇用の創出など地方創生への貢献が期待できる。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 4 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	再生可能エネルギー導入量 (MW)【単年】	95.9	126.8		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	6,153	———	《継続》	———	———
関 川 村	1,356,542	———	《継続》	———	———
合 計	1,362,695				
補助制度	(村上市)住宅用太陽光発電システム設置費補助金、木質バイオマスストーブ設置費補助金 (関川村)地域脱炭素移行・再エネ推進補助金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

(6) 消防・防災 (中項目 6)

基本目標	指 標
	地域住民の安全・安心の確保と地域防災力の向上を図る。

① 常備消防の推進 (小項目 19)

● 形成協定の内容

取組内容	圏域住民の生命財産を守るため、消防・救急体制について充実を図る。
甲の役割	緊急時における出動体制の充実を図る。
乙の役割	甲に対し必要な経費の負担をする。

具体的な連携事業 (24)

事業名	広域消防事業					
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村					
事業内容	圏域内で発生した火災、救急及び救助について広域的に業務を行う。					
期待される効果	圏域住民の安全、安心の確保及び向上を図ることができる。					
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考		
	救急救命士有資格者数 (実働数：人) 【累計】	35	40			
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度	
	村 上 市	1,299,484		≪継続≫		
	関 川 村	220,964		≪継続≫		
	栗島浦村	14,448		≪継続≫		
	合 計	1,534,896				
補助制度	緊急消防援助隊設備整備費補助金、消防防災施設整備費補助金					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

②地域防災力の向上 (小項目 20)

●形成協定の内容

取組内容	住民の防災意識を高めるとともに、防災体制の強化を図る。
甲の役割	防災意識向上のため、関係機関と連携し、住民の防災意識の向上に努める。
乙の役割	防災意識向上のため、関係機関と連携し、住民の防災意識の向上に努める。

具体的な連携事業 (25)

事業名	防災士養成事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	地域防災リーダーとなる防災士を養成する。				
期待される効果	地域防災リーダーを育成することにより、地域防災力の向上を図ることができる。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	防災士有資格者数 (人) 【累計】	322 人	482 人		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	1,518	――	――	「継続」――	――
関 川 村	310	――	――	「継続」――	――
栗島浦村	196	――	――	「継続」――	――
合 計	2,024				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

(7) その他 (中項目 7)

基本目標	指 標
	安全・安心な生活の確保と労働力確保及び雇用の安定化を図る。

①消費生活相談における相互利用 (小項目 21)

●形成協定の内容

取組内容	複雑化、多様化する消費者被害を防止するため、住民に対し安全・安心を確保する必要な体制の強化を図り、啓発・教育活動を推進する。
甲の役割	消費生活に関する相談内容、対応状況等の情報交換などを行い、専門機関との連携を強化する。
乙の役割	甲と情報交換などを行い、相談内容に応じて甲と協力して対応する。

具体的な連携事業 (26)

事業名	消費生活相談事業				
連携市村	村上市、関川村、粟島浦村				
事業内容	消費者への啓発及び情報提供を行うとともに、消費生活相談体制の充実を図る。				
期待される効果	消費生活体制の充実により相談機会が拡充され、より安全、安心な生活が確保できる。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	消費生活相談体制の充実により安心な生活の確保を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	6,165		「継続」		
関 川 村	450		「継続」		
粟島浦村	0		「継続」		
合 計	6,615				
補助制度	新潟県消費者行政推進事業等補助金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

②雇用支援の促進に向けた取組 (小項目 22)

●形成協定の内容

取組内容	若者の雇用支援の促進に向け、各種協議会等の取組を推進する。
甲の役割	雇用支援の促進に向け、雇用対策協議会等の取組を推進する。
乙の役割	甲が行う雇用対策として実施している雇用対策協議会等の取組を推進する。

具体的な連携事業 (27)

事業名	雇用創出支援事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	雇用対策協議会等の取り組みを推進する。				
期待される効果	地域の労働力の確保、雇用の安定及び人材育成が期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標				
	労働力の確保、雇用の安定及び人材育成を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	865	―――	―――	「継続」	―――
関 川 村	128	―――	―――	「継続」	―――
栗島浦村	7	―――	―――	「継続」	―――
合 計	1,000				
補助制度	岩船郡村上市雇用対策協議会負担金				

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

2 結びつきやネットワークの強化 (大項目 2)

(1) 地域公共交通 (中項目 8)

基本目標	指 標
	地域住民の移動手段の確保と利便性の向上を図る。

① 公共交通ネットワークの確保 (小項目 23)

● 形成協定の内容

取組内容	圏域内の交通資源を効率的に活用し、住民の移動手段確保及び持続可能な公共交通の提供に向けた連携を図る。
甲の役割	甲乙それぞれが行う公共交通事業の相互利用の推進や圏域内交通資源の効率的な運行を調整し、住民の移動手段確保対策及び持続可能な公共交通ネットワークの構築・向上に向けた連携を推進する。
乙の役割	甲乙それぞれが行う公共交通事業の相互利用の推進や圏域内交通資源の効率的な運行を調整し、住民の移動手段確保対策及び持続可能な公共交通ネットワークの構築・向上に向けた連携を推進する。

具体的な連携事業 (28)

事業名	公共交通ネットワーク事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	地域公共交通のあり方に関する調査検討や公共交通の確保のために必要な事業の実施等により、地域公共交通ネットワークを構築する。				
期待される効果	圏域内の交通資源の効率的な活用により利便性の高い地域旅客運送サービスの持続可能な提供が期待できる。地域住民の移動手段の確保と移動の利便性向上を図ることが期待される。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	乗り合いタクシー圏域内相互 利用者数(人) 【単年】	7	70	村上市：高速のりあいタクシー 関川村：えぶり号 栗島浦村：乗合タクシー	
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	13,650	――	――	「継続」	――
関 川 村	8,040	――	――	「継続」	――
栗島浦村	2,715	――	――	「継続」	――
合 計	24,405				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

(2) 地域連携 (中項目 9)

基本目標	指 標
	人口減少対策強化のため更なる連携強化を図る。

①人口減少対策への取組強化 (小項目 24)

●形成協定の内容

取組内容	人口減少問題の課題を整理し、解決に向け連携した取組を推進する。
甲の役割	乙と連携して地域の問題や課題を整理し、解決に向けた取組を推進する。
乙の役割	甲と連携して地域の問題や課題を整理し、解決に向けた取組を推進する。

具体的な連携事業 (29)

事業名	関係人口創出・拡大事業				
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村				
事業内容	各市村で展開している関係人口創出の取組を継続するとともに、圏域内で連携できる取組を検討(模索)する。				
期待される効果	関係人口の拡大が図られるほか、交流人口及び定住人口の拡大にもつながることが期待できる。				
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値	令和 11 年度 目標値	備 考	
	連携事業数【単年】	0	1		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	6,162	———	———	《継続》	———
関 川 村	14,745	———	———	《継続》	———
栗島浦村	26,352	———	———	《継続》	———
合 計	47,259				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

（３）システム共同利用の環境整備（中項目 10）

基本目標	指 標
	適正なシステムの維持管理を図る。

①行政情報システムの共同利用（小項目 25）

●形成協定の内容

取組内容	行政情報システムの共同利用を継続し、情報化経費の削減、事務の効率化を推進する。
甲の役割	行政情報システムの適正な維持管理を行う。
乙の役割	甲に対し必要な経費について負担する。

具体的な連携事業（30）

事業名	戸籍情報システム共同利用事業				
連携市村	村上市、栗島浦村				
事業内容	戸籍情報システムの共同利用を継続する。				
期待される効果	情報化経費の削減、事務の効率化が図られる。				
成果指標 （ K P I ）	指 標				
	システムの維持管理と事務の効率化を図る。				
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度
村 上 市	12,425	※戸籍情報システムの標準化に伴い、 令和 8 年 1 月末で共同利用を終了予定			
栗島浦村	498				
合 計	12,923				
補助制度					

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

3 圏域マネジメント能力の強化 (大項目 3)

(1) 育成・交流の推進 (中項目 11)

基本目標	指 標
	職員の専門知識の習得と資質向上を図る。

①職員の資質向上とマネジメント能力強化 (小項目 26)

●形成協定の内容

取組内容	職員の資質向上を目的とした講演会や交流を目的とした研修会の企画立案をする。
甲の役割	職員の資質向上を目的とした講演会やマネジメント能力強化合同研修会の企画立案をするとともに職員間の交流を図る。
乙の役割	甲が実施する講演会、研修会へ積極的に参加する。

具体的な連携事業 (31)

事業名	職員研修事業					
連携市村	村上市、関川村、栗島浦村					
事業内容	職員の資質向上と圏域マネジメントの運用を強化するため合同で研修会を行う。					
期待される効果	自治体職員として必要な専門知識等を効率的、効果的に習得でき、職員の資質向上を図ることが期待される。					
成果指標 (K P I)	指 標	令和 5 年度 現状値		令和 11 年度 目標値		備 考
	合同職員研修の実施回数 (回) 【単年】	1 回		1 回		
事業費見込(千円)	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和 11 年度	
	村 上 市	100		「継続」		
	関 川 村	50		「継続」		
	栗島浦村	50		「継続」		
	合 計	200				
補助制度						

※事業費見込は現時点での連携市村の合計見込額を記載。毎年度の予算で具体額を定めます。

- 第 3 次 -

村上岩船定住自立圏共生ビジョン

令和 7 年 月

発行 新潟県村上市

編集 村上市企画戦略課

〒958-8501 新潟県村上市三之町 1 番 1 号

TEL 0254-53-2111（代表）

FAX 0254-53-3840（代表）

E-mail info@city.murakami.lg.jp